



文部科学省 令和7年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用



令和7年度外国にルーツを持つ子どもの日本語支援研修会

外国にルーツを持つ子どもへの 支援のとびらをひらく！

福岡都市圏には外国にルーツを持つ子どもがたくさんいます。

その中には、来日してまだ間もなく日本語がわからない子、日常会話ができてても授業で出てくる日本語がわからず困っている子どもたちがいます。

子どもたちの状況や地域の課題を知り、日本語学習を支援するボランティアとしてとびらをひらいてみませんか？

日時

2026年2月11日(水・祝) am10:00～pm12:30

場所

福岡市国際会館4F

受講
無料

対象

外国にルーツを持つ子どもの日本語学習支援に興味関心があり、
子どもへの日本語ボランティア未経験の方、または活動期間1年未満の方 ※福岡都市圏の方に限る

定員

24名(先着順)

福岡市国際会館
(MAP) →



第1部

10:05～10:20

「福岡市における地域日本語教育について」
～外国人にも住みやすく活動しやすいまちづくり～

情報提供

講師

福岡市総務企画局国際部多文化共生課
多文化共生係長 **吉弘 あき 氏**

第2部

10:20～11:20

「複数の言語環境で生活する子どもの言語発達・
小学生の日本語学習の特徴と効果的な支援方法」

講演

講師

元日本語サポートセンターコーディネーター
池田 尚登 氏

第3部

11:25～11:55

「ワークショップ(支援の実践例について情報交換)」
～活動中の地域日本語教室のボランティアと
一緒に考えてみよう～

ワークショップ

講師

NPO法人ともに生きる街ふくおかの会
代表理事 **吉谷 武志 氏**

講師プロフィール

池田 尚登



2008年から福岡市立香陵小学校にて、日本語指導担当教員として勤務。2014年には福岡市立城浜小学校にて、福岡市の新しい日本語指導体制のもと、日本語サポートセンターコーディネーターを務めた。翌年2015年から2021年には福岡市立筑紫丘小学校にて、引き続き日本語サポートセンターコーディネーターとして、福岡市立小中学校に通う日本語指導が必要な子どもたちへの教育に携わる。2016年から昨年度まで、福岡女学院大学 非常勤講師「児童日本語教育法」を担当し、現在は、同大学の生涯学習講師として活躍。

吉谷 武志



九州大学大学院教育学研究科を修了後、同大学院の人間環境学研究院教授を経て、2008年から東京学芸大学国際教育センターに所属。現在は東京学芸大学名誉教授、中村学園大学特任教授。専門は異文化間教育学、外国人児童生徒教育、ヨーロッパの国際機関、国際NGOの移民教育・異文化間教育の研究。大学での研究、教育活動のほか、福岡で外国にルーツを持つ子どもの支援や地域の多文化共生にも取り組む。NPO法人ともに生きる街ふくおかの会の代表理事。

申し込み

【主催／問い合わせ先】

(公財)福岡よかトピア国際交流財団 多文化共生課

電話:092-262-1744 E-mail: nihongo@fcif.or.jp

2/3(火)までに
必要事項を入力し
てお申込みください。

<https://forms.gle/q5FURx6hDdsP5R3i7>

